

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	14-102	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Heavy alcohol use and suicidal behavior among people who use illicit drugs: A cohort study. 不法薬物使用者における過度飲酒と自殺行動：コホート研究		
執筆者		
Kennedy MC, Marshall BD, Hayashi K, Nguyen P, Wood E, Kerr T.		
掲載誌		
Drug Alcohol Depend. 2015 Jun 1;151:272-7. doi: 10.1016/j.drugalcdep.2015.03.006.		
キーワード		PMID
飲酒、自殺、不法薬物使用、カナダ		25823908
要 旨		
目的： 不法薬物使用者 (PWUD)は自殺行動を起こすリスクが高いことが知られている。一方、過度飲酒者は自殺リスクが高いとされているが、PWUD の自殺行動における過度飲酒の関連は十分に調べられていない。本研究では、PWUD における過度飲酒と自殺行動の関連を検討した。		
方法： カナダ、バンクーバーにおいて、2005-2013 年に PWUD を対象として行われた 2 つのコホート研究のデータを用いた。社会人口学的、薬物使用および自殺行動を含めたメンタルヘルスに関する調査を質問票を用いて行った。危険あるいは過度の飲酒と自殺企図のリスクとの関連を検討した。		
結果： 8 年間の研究期間中、対象者 1,757 名のうち 162 名 (9.2%)から 227 件の自殺企図が申告された。これは、100 人年当たり 2.5 件である。不法薬物服用などの因子で調整後、過度飲酒は自殺行動のリスクと正に関連した (調整ハザード比 1.97; 95%信頼区間 1.39-2.78)。		
結論： 地域におけるコホート研究において、過度飲酒は薬物使用とは独立して、自殺企図を予測した。これらの知見より、過度飲酒のある PWUD への自殺リスクに対する介入が必要と考えられる。		